



# 東京YMCA

2014 5 月号

発行所 公益財団法人東京YMCA 発行人 廣田光司  
135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

URL <http://tokyo.ymca.or.jp>

## 東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

We build strong kids, strong families, strong communities. YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

# ウクライナ高校生と心の交流

## 詩やメッセージを、インターネットで交換

東京YMCAとウクライナYMCAは2002年から、クリスマスカードや絵画の交換による交流を続けています。今年2月、東京YMCAインターナショナルスクール(TYIS)の生徒たちが、ウクライナYMCA近隣の高校生と、「文通」ならぬ「動画の交換」を開始。「詩の朗読」やメッセージなどを送り合い、交流を深めています。

### 相手国の詩を朗読

2月、首都キエフの高校生。この高校では、ウクライナYMCAをライナーにおける国民的詩人として、東京YMCAとタラス・シェフチェンコの生誕200年を記念して、

詩の朗読による交流を企画。シェフチェンコの詩を世界の人たちにも朗読してもらい、また相手国の詩も朗読するといった内容で、TYISの小学6年生クラスがこれに際してのことになりました。

「1814〜1861年」は、帝政ロシア時代にウクライナ独立運動に関わった詩人で、今も学校ではこの詩を子どもたちに暗唱させているとのこと。3月9日の生誕200年記念に向け

この交流の最中に、国内の緊張が高まり、ウクライナに死傷者が出るかもしれないという不安の中で、人間の尊厳をあらためて感じています」と「世界YMCA同盟ニュース(2月26日付)」に投稿されました。

ウクライナと東京YMCAの交流は、両YMCAの青少年によって「平和と生命」をテーマに絵画コンテストを開催。東陽町センターでも展示しました。2006年には、ピース・スターツアーを行い、東京YMCAから3人がウクライナを訪問。キエフにある戦争博物館やチェルノブイリ博物館を訪れています。

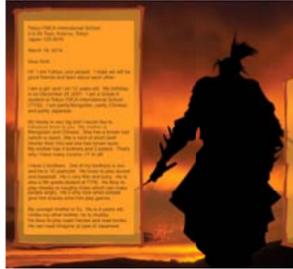
ウクライナYMCAは現在、国内に23カ所の拠点を多数掲載されています。http://ymca.org.ua/

ウクライナYMCAのホームページは、ウクライナ語と英語の2カ国語で作られており、活動写真なども多数掲載されています。

ウクライナYMCAのホームページは、ウクライナ語と英語の2カ国語で作られており、活動写真なども多数掲載されています。



→ウクライナの高校生(11年生)と、TYISの6年生(同右)



ウクライナと東京YMCAの子どもたちが交換した動画メッセージ。イラストや音楽入りできれいに制作されています。

エルマー (@ウクライナ) より  
ウクライナは史上最大の困難に直面しています。この国の政治に不満をもったウクライナの人々は、キエフに集まって民主的なデモをしました。けれども大統領や大臣たちがそのデモを鎮圧し、100人以上の人が亡くなりました。こんなに恐ろしいことはありません。

← エルマー@ウクライナへ  
こんにちは。ほくも君と同じ意見です。ウクライナの問題は世界中のトップニュースだと思えます。デモをしていただく人が亡くなりました。ほくが一番伝えたいことは、暴力ではうまく解決できない、ということ。話し合いによって、この問題が早く解決され、ウクライナに平和がくるように願っています。(リユータロー@東京)

ナタリア (@ウクライナ) より  
ウクライナでは混乱が続いています。私たちは国が分断されることを望んでいません。インターネット上にはデタラメなニュースもたくさんあります。それらを信じないでください。

ダニエル (@ウクライナ) へ  
デモをしていた人がたくさん殺されてしまうなんて、本当に驚きました。私は、たくさん間違った情報があることも知りました。メディアは、ちゃんとウクライナの人々の意見も取材して、正しいニュースを流すべきだと思います。正しい情報は、問題の解決に必要です。早く混乱が収まるように願っています。(エリカ@東京より)

← マーシャ (@ウクライナ) へ。  
私もあなたの意見に賛成です。ウクライナは今、チヨウガサナギから羽化するような、準備の時期だと思っています。ウクライナには、より良い未来を作っていく大きなエネルギーがあると信じています。  
...みなさんのような人たちが次代の力強いリーダーになって、良心と責任感で、良き時代が作られると信じています。(ジハ@東京より)

### ウクライナYとの交流は02年から

ウクライナと東京YMCAの交流は、両YMCAの青少年によって「平和と生命」をテーマに絵画コンテストを開催。東陽町センターでも展示しました。2006年には、ピース・スターツアーを行い、東京YMCAから3人がウクライナを訪問。キエフにある戦争博物館やチェルノブイリ博物館を訪れています。

### 赤三角

星野正興牧師(日本基督教団・松崎教会)が、今年1月に東山荘で開催された第60回「YMCA農村青年塾」報告紙の

コラムに、「忘れてはいけないこと、忘れてはならないこと」がある。前者は人に善行を積んだこと、また後者はひとの痛みと悲しみであろうか」と書いている。そして、「大震災がおきた直後は、どこでも震災募金をして...その殆どが一ヶ月で消えた」と書き加えている▼東京・町田の小さなYMCAにも大きな夢がある。「揚がれ!希望の風」。名古屋クラブの奈良昭彦氏が提唱した『3・11揚がれ!希望の風』を、全国10数カ所のYMCA・ワイスマンズクラブが呼応している。町田でも近隣の大人たち・子どもたちに呼びかけて、一昨年から、3・11直前の休日に『希望』と大書きした手作り風を一緒に掲げて、復興への希望を子どもたちと一緒に味わっている。参加者は最初52名で、2年目には60名に及んだが、3回目の今年は、20名だけとなってしまった。星野牧師が書かれたように、地域での関心は、衰退してしまっているのか?▼ならば、なお、私たちに、あの被災家族の皆様が背負っておられる「痛み・悲しみ」を、私たちは忘れませんと、未来を託す子どもたちに今、しっかりと伝えていく必要があるのだと、切実に考えさせられている。(東京・町田YMCA 後藤邦夫)



# TOPICS トピックス

## 聖路加病院に 貼り絵展示

### 子どもの共同作品「いのちを吹き込む」

「聖路加国際病院・YMCAくぐりキャンパス」で、昨年9月に子どもたちが製作した貼り絵が、5月12日、聖路加国際病院内のギャラリーに展示されています。絵のテーマは「いのちを吹き込む」。模造紙3枚ほどの大きな紙に、手作りの色紙をちぎって作ったもので、空、陸、海や生き物が躍動的に表現されています。製作したのは、聖路加国際病院の形成外科・松井瑞子医師の患者である子どもたち約20人で、昨年9月に山中湖センターで行ったキャンプ期間中に、アートディレクターの堀木一男氏を招き、指導いただきました。



聖路加国際病院の渡り廊下に設置されたギャラリー。巾2mほどもある貼り絵が4点と、製作の様子を紹介したポスターが展示されている。

この「くぐり」プログラムは、東京YMCAが主催し、聖路加国際病院が共催、ピザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社の協賛によって行われており、キャンプだけでなく、プロ選手を招いての「フットサル」や「バスケットボール」など年間を通じて開催しています。

## 個性を生かす高校として

昨年12月に新規開校した通信制高校サポート校「東京YMCA高等学院」は、4月にも入学者を迎え、総勢9人がアットホームな雰囲気の中で学んでいます。この学校は、大阪YMCAの通信制高校「YMCA学院高等学院」を本校とするサポート校で、単位認定は大阪YMCAが行い、東京YMCAはレポート作成など日ごとの学習をサポートするものです。登校日数も週1日〜5日の中で自分で選ぶことができます。また授業は、YMCAが得意とする体験学習や、福祉、保育、ウエ

### 高等学院

生徒は大変個性的で、社会人経験のある方や、他の高校から転校してきた生徒など、それぞれに経歴や特色をもっています。当校は、「みんな違って、みんないい」と自信をもって言える学校を目指しており、一人ひとりの個性やすばらしさが引き出されるような環境を提供したいと考えています。

↑入学礼拝では、在校生が奏楽してくれました。(高等学院 井口真)

## 新設「芝浦学童クラブ」

### 地域のニーズに応じて



3月、東京YMCAが指定管理者として運営している「港区立芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ（通称「あいぶら」）内の学童クラブに、定員を大幅に上回る入所希望者があり、港区は急ぎょ、学童クラブを新設。東京YMCAがその運営を担うこととなりました。JR田町駅から徒歩10分というビジネス街にありますが、マンションも次々と建設され、人口が増え続けている地域です。名称は「港区立芝浦学童クラブ」。「あいぶら」から徒歩5分ほどにあり、4月1日から33人の小学生が通っています。広い保育室では、荷物の搬入に使われた大きな段ボールを使って家や迷路を作るなど、子どもたちは自由な発想の中で、遊びを展開しています。公園に出かけるなど外出も多く取り入れ、あいぶらのプログラムに参加するなど、連携しながら運営をしています。

(芝浦学童クラブ 江尻明子)



→国際ホテル専門学校とにほんご学院合同の球技大会で

### にほんご学院

## 国籍さまざま 66人が勉強中

4月に30人が入学し、総勢66人が日本語を学んでいます。出身国はベトナムが多く、続いて中国、ネパール、モンゴル、スリランカ、台湾、韓国、イギリス、アメリカ、インドネシアの10ヶ国。留学ビザを取得して入学した学生だけでなく、配偶者ビザや短期滞在などのビザで来日した学生もいます。日本語を学ぶ目的も「将来母国の日系企業で働きたい」「日本で生活するため」などさまざまです。まだ日本語でのコミュニケーションも難しい状態ですが、多文化が共存する学校の中で、広い視野を養い、人間的にも成長して欲しいと思います。

(にほんご学院 小野実)

## 社会体育・保育／医療福祉専門学校

文部科学省によって今年新設された「職業実践専門課程」は、専門学校の職業教育の水準の維持向上を目的として作られた認定制度です。企業等と連携して学校評価・カリキュラム編成を行い実技・実習を実施していることや、教員の研修を組織的に行っていることなどが要件とされています。この度、東京YMCAの以下の4つの学科がこの課程に認定されました。

- 【東京YMCA社会体育・保育専門学校】
- ◆社会体育専門課程
  - ・スポーツトレーナー科
  - ・スポーツインストラクター科
- 【東京YMCA医療福祉専門学校】
- ◆社会福祉専門課程 介護福祉科
  - ◆医療専門課程 作業療法学科

いずれも4月には多数の新入学生を迎え、社会体育・保育専門学校は総計355人、医療福祉専門学校では197人がそれぞれの目的に向かって頑張っています。

## 「職業実践専門課程」に認定

### すべての人を一つにしてください

## 改憲問題と民主主義

「広い意味での人間の幸福をつくる営みを、地域住民自らが考えていく時がやってきます。今まではすべて（お上）がやってきてくれた。しかし、極めて現実的で日常的な市民のニーズを、市民自らが解決していく時代が否応なくやってきている、ということなのです。」（稲垣久和著「改憲問題とキリスト教」より）

5月3日は憲法記念日です。大型連休で世の中は平和気分ですが、東京基督教大学稲垣教授は著書の中で改憲の危機を訴えています。現行憲法と2012年に自民党から出された「改憲草案」とを比較しつつ、特に9条と共に21条の結社の自由、及び削除が提案されている97条「基本的人権」に関して、キリスト

者の立場から警告を発しています。稲垣氏は「公共の福祉」が「公益及び公の秩序」に変更している点に注目しています。「市民のための国」から「国のための国民へ」の転換です。民主主義が変わってしまう危機感があります。世界から尊敬される国の立場を放棄すると自国が直接攻撃されることも現実になるかもしれません。平和は尊敬・尊重し合う中で生まれるのだと思います。力を誇示・行使することで平和は実現しないことを9・11の事件が証明しています。

（総主事 廣田光司）

### シリーズ 資料室の窓から(84)

## 村岡花子を、母親に見立てて

齊藤 實 本会元副総主事

部からも着席した。父親役には子息が少年部会員の、東京Y会員兼川一を充てた。母親役にはすぐに思いついて村岡花子を招いた。軍事優先の殺伐とした時代を少年として生きていた私の心の隅に、当時のラジオ番組で聞いていた彼女の静かな声は沈潜していたのである。記憶の底に深く沈んではいないが、あの「ごきげんよう。さようなら」が自然と甦って、やわらかい響きの声の主と対面となった。

私の母親がいつもそうであったように、和服姿で来られた。十代には十代の眼がある。言葉がある。村岡花子は自身の少女時代とは天地が異なる新時代の若い声を微笑みながら聴いてくれた。同じ時代を生きていくと少年部主事は機関紙『東京青年』論壇に書いた時期であった。

会場壇上には、少年部の高校生猪俣と中学生鷹取正豪が着いた。東京YWCA中高

村岡花子が戦時中に訳し終えていた『赤毛のアン』を世に出して好評を得たのは1952年初夏である。その評判の作家村岡花子を母親に見立てた集会を持った。1956



→村岡花子さん（左）と齊藤 實氏

連合国軍による日本国占領が終わって3年経ち、誰もが新たな時代を望み見えていた。「僕たちも自身の立場や責任をよく知っている、だから大人たちが本気で相談相手になってほしい」「受験だけが目的の勉強に意味のないことを知っている」と訴える。「新しい時代に生きる少年たちは、今ある大人たちの若き時代とはちがった感覚とテンポで生きていく」と少年部主事は機関紙『東京青年』論壇に書いた時期であった。

会場壇上には、少年部の高校生猪俣と中学生鷹取正豪が着いた。東京YWCA中高